

JHU



多彩な学び
つながる未来
新たな発見と探究心に広がりをも

デリバリークラス[出前授業]のご案内

2026

5月更新



日本医療大学



保健医療学部

◇ 医療全般	01ページ
◇ 看護学科	02ページ
◇ リハビリテーション学科理学療法学専攻	06ページ
◇ リハビリテーション学科作業療法学専攻	09ページ
◇ 診療放射線学科	12ページ
◇ 臨床検査学科	13ページ
◇ 臨床工学科	15ページ

ヒューマンデザイン学部

◇ 医療DXマネジメント学科	16ページ
◇ 共生社会デザイン学科	17ページ



申込番号 01	医療全般	太田 誠
医療職への道(後悔しない進路選択の考え方)		
<p>高校生が将来を見据え、社会に求められる医療のこれからについて考えながら、自身の将来像を具体的にイメージできるよう、進化し続ける「医療」への理解を深めます。また、自己実現の視点を踏まえ、自分に合った進路選択や医療職に求められる資質・適性、進路準備について考える機会とし、幅広い視点から「医療」を学ぶ時間を提供します。</p>		

申込番号 02	医療全般	品川 雅明
病院内で仕事をしている医療職とその役割		
<p>病院内で仕事をしている医療職の種類と役割、また他職種との連携などを解説します。</p>		

申込番号 03	医療全般	岸上 博俊
医療系大学生に求められる基礎科目		
<p>医療系といっても幅が広いです。当然求められる知識、技術にも違いがあります。例えば看護やリハビリテーションは対人業務になりますし、放射線、検査、工学は、機器を扱う業務になります。それぞれ求められる基礎教育科目には大きな違いがあります。それらをわかりやすくお伝えするとともに、就職状況や国家試験状況も含めてお伝えいたします。</p>		

申込番号 04	医療全般	岸上 博俊
医療系を学ぶのは大学？専門学校？		
<p>医療系を学ぶには専門学校と大学と大きく2つの選択肢があります。それぞれ利点と欠点があり、それらを理解したうえで進路を決めていくことが大切です。我々大学では、専門性を追求していくことに最大の利点が存在していると思っています。</p>		

申込番号 05	医療全般	大井 諒
病院でのお仕事 -医療職の種類と役割-		
<p>現在、医療施設で活躍する職種は、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士など多岐にわたります。それぞれの職種の「仕事内容」や「やりがい」などについて、現場スタッフの生の声を基にわかりやすく御話していきます。</p>		

申込番号 06	医療全般	磯辺 正道
患者中心の多職種連携とコミュニケーション		
<p>臨床検査の視点から患者(家族)・医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・臨床工学技士・理学療法士・作業療法士等が互いに連携し、より良い検査・診断・治療に繋げるには患者を中心に職域を超えたコミュニケーションが必要となります。事例を用いて楽しく一緒に学んでいきましょう。</p>		

申込番号 07	看護学科	河原畑 尚美
災害看護について		
<p>災害はいつ起こるかわかりません。一人ひとりが災害に備えておく必要があります。災害時における看護師の役割や全国の大学生で組織する災害支援チームについても紹介します。</p>		

申込番号 08	看護学科	河原畑 尚美
大学で看護を学ぶということ		
<p>看護職を目指す道はさまざまありますが、大学で看護を学ぶことの意味を大学の授業や実習、研究の内容、また卒業後の進路などを交え、わかりやすくお話しします。</p>		

申込番号 09	看護学科	澤田 優美
いのちの誕生を支える看護職		
<p>妊娠出産、いのちの誕生をささえる看護職のお仕事について、わかりやすくお話しします。</p>		

申込番号 10	看護学科	澤田 優美
赤ちゃんのお世話(親子相互作用)について		
<p>生まれたばかりの赤ちゃんもサインをだしてくれています。サインをよみとり、赤ちゃんのお世話のポイントをお話しします。</p>		

申込番号 11	看護学科	進藤 ゆかり
訪問看護師の歴史(ルーツ)を知ろう！		
<p>超高齢社会である日本では、「病気や障害があっても住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれる方が増えています。看護師の仕事は、病院や施設内に限定されることはありません。地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まですべての年代の方に、関係職種と協力し合って、一人ひとりに必要な支援が行えるのが、訪問看護です。白衣を脱いで、地域で幅広く活躍する訪問看護師の発展の歴史やルーツ、その醍醐味を皆さんと一緒に共有できたらと思います。</p>		

申込番号 12	看護学科	進藤 ゆかり
あなたのお家は大丈夫？住環境アセスメント		
<p>住まい・生活環境とは、人が人らしい生活を営むために必要な「機能」と「地域環境」を併せ持つ空間です。地域・在宅看護では、そこに住む人の思いや暮らしぶりを理解したうえで、療養者の価値観を大切にしながら支援していくことが必要です。みなさんの住まいの安全性や問題点に気づき、事故や災害、療養に適した健康的な住環境を整えるための視点について考えてみましょう！</p>		

申込番号 13	看護学科	溝部 佳代
聴診器からどんな音が聞こえるの？		
<p>医師の診察で用いられる聴診器。看護師も毎日使用し、健康状態の変化を捉えます。聴診器の仕組み、聴診器をあててどこどのような音を聞いているのか、聞こえた音から何がわかるのかを解説します。実際に音を聞き比べ、身体のサインを一緒に考えてみましょう。</p>		

申込番号 14	看護学科	山崎 公美子
看護教育の歴史		
<p>看護師の教育がいつから、どのように行われてきたのかを、近代から現代へと時代を追いながら、イラストや写真を用いて紹介していきます。</p>		

申込番号 15	看護学科	鶴木 恭子
マッサージって、看護なの？		
<p>私は、これまで約10年間にわたり600例以上の患者さんにマッサージの技術を提供してきました。医療現場では、マッサージはどのような効果をもたらすと思いますか？本学看護学生のマッサージ演習体験の結果もふまえて興味深い結果をご紹介します。</p>		

申込番号 16	看護学科	鏡山 浩美
良く眠ることが大切な理由		
<p>すべての動物は睡眠をとらなければ生きていくことができません。睡眠不足は、肥満、糖尿病、免疫力や記憶力の低下など、さまざまな健康への影響をもたらすことが最近の研究によりわかってきました。今日から実践できる良い睡眠の取り方について、一緒に考えてみましょう。</p>		

申込番号 17	看護学科	柏倉 大作
食生活を支える看護職		
<p>健康的な食生活が大事だとわかっているけど、続けるのはとても大変です。看護職として、病気と付き合いながら食生活を整えるための支援を一緒に考えてみましょう。</p>		

申込番号 18	看護学科	合田 恵理香
救急・ICUナースのお仕事		
<p>ケガや病気で命の危機にある患者さんを救うために、また、そのような患者さんの家族のために、看護師はどんなことをしているのでしょうか。救急・ICUナースのお仕事について、お話しします。</p>		

申込番号 19	看護学科	中澤 洋子
糖尿病の基礎知識		
生活習慣病である糖尿病を、成人期にある人の特徴から、疫学、病態、治療(食事療法・薬物療法)とその看護について説明をします。最後に講義の復習として、糖尿病クイズをします。		

申込番号 20	看護学科	原田 圭子
看護大学で学ぶことって？		
看護大学ではどんなことを学ぶのかな？自分にもできるかな？などの疑問に答えられるようなお話をします。ご希望の内容があれば事前にお伺いいたします。		

申込番号 21	看護学科	福田 早織
手術が終わったらゴール？それともスタート？		
手術は終わりではなく、新しい生活のスタートです。看護師が退院後の生活まで考えて患者さんを支えていることや、外来看護師の役割について紹介します。		

申込番号 22	看護学科	鈴木 捷允
健康の自己管理～受診行動の観点から～		
皆さんは、体調悪いけれども病院に行くのを面倒に思ったことはありませんか？ それなのに、辛くて受診して医師に診てもらったらすぐに元気になって、その時「もっと早く病院に行けばよかったな」と思ったことはありませんか？ 最初にどうして面倒に思ったのか、なぜ行こうと思ったのか、一緒に考えてみましょう。		

申込番号 23	看護学科	柏民 圭太
高齢者とのコミュニケーション		
高齢化社会において、世代を超えたコミュニケーションはますます重要になっています。この講義では、高齢者との効果的なコミュニケーションについて学び、世代を超えた相互理解と豊かな関係づくりのヒントをお伝えします。		

申込番号 24	看護学科	佐藤 予右子
認知症の人の気持ちを考えてみよう		
『認知症』とはどのような状態なのか、『認知症』の人とはどのような気持ちでいるのかを知り、安心・安全に、そして人間らしく暮らせる社会の実現のために私たちがができることを一緒に考えてみましょう。		

申込番号 25	看護学科	田川 史穂里
手術室の看護師とは？		
<p>手術室看護師のイメージは、テレビドラマで見かけるような「メス」や「クーパー(はさみ)」等を医師に渡し、医師の汗を拭く。そんなイメージが強いのではないのでしょうか。しかし、それだけではありません。患者さんが安全に安心して手術を終えられるように、手術の前から手術室の看護は始まっています。あまり知られていない手術室看護師の看護をお話します。</p>		

申込番号 26	看護学科	春名 美恵
病气や障がいとともに生きる人々を理解しようー街にある多機能トイレにクローズアップ！		
<p>多機能トイレにはどのような設備が備わっているか知っていますか？多機能トイレの設備や工夫、オストメイトのケアについて学び、病气や障がいとともに生きる方々の理解を深めましょう。</p>		

申込番号 27	看護学科	本間 公
君たちはどう生き(て)いるか～身体状態を知るためのバイタルサインとは～		
<p>皆さんは朝起きて、学校に行って勉強・部活をして、家に帰って勉強して寝る…ということを「当たり前」のこととして繰り返していると思います。しかし、その「当たり前」が身体の状態によって出来ず困っている方がおり、看護師はそんな方々の援助や治療の一役を担っています。その中から、基本となる「身体の状態を知るための看護師の役割」を「バイタルサイン」という医療用語を用いて、例を示しながら知る奥深さをお話します。</p>		

申込番号 28	看護学科	中村 江衣
看護師の仕事と暮らしをのぞいてみよう ～働き方と日常生活から知る看護の世界～		
<p>看護師は病院でどのような仕事をしているのでしょうか。また、夜勤のある働き方や毎日の生活はどのようなものなのでしょうか。本講義では、看護師の具体的な仕事内容や1日の流れ、勤務と生活の工夫について、実際の経験をもとにわかりやすく紹介します。看護師という職業をより身近に感じ、進路を考えるきっかけとなる内容です。</p>		

申込番号 29	看護学科	中村 江衣
“支える”を仕事にする看護のキャリアを考える		
<p>看護師には、患者さんのケアを行いながら経験を積み、さらに専門性を高めて活躍する道があります。その一つとして、専門看護師・認定看護師・診療看護師などがあります。本講義では、こうした専門性をもつ看護師がどのような場面で力を発揮し、どのような役割を担っているのかをわかりやすく紹介します。医師や薬剤師、栄養士、介護士などさまざまな職種と協力しながら、患者さんやご家族、地域を支える看護の魅力や、看護師として広がるキャリアの可能性についてお話します。</p>		

申込番号 30	理学療法学専攻	柿澤 雅史
理学療法士と作業療法士のちがい		
リハビリテーション医療に関わる2つの職種の違いについて、簡単な体験をしながら理解します。		

申込番号 31	理学療法学専攻	向井 康詞
身体の仕組みについての簡単な疑問		
骨折すると骨は太くなる？治療のために体の中に金属を入れても安全なの？など医療に対する疑問にわかりやすく答えます。		

申込番号 32	理学療法学専攻	向井 康詞
スポーツ障害とテーピング		
部活動などでよくみられるスポーツ障害を理解して、テーピングを体験します。		

申込番号 33	理学療法学専攻	西山 徹
切断者に対する理学療法		
近年、パラリンピックなどで注目されることの多くなった「下肢切断者」に対する理学療法を講義し、最新の義足等を紹介します。また、模擬的な義足を用いて、義足での歩行を実際に体験してもらいます。		

申込番号 34	理学療法学専攻	矢口 智恵
ヒトはなぜ立てるのか？		
私たちは、普段何気なく立つことができます。この姿勢は、脳からの命令による、筋肉の微妙な調節によって保たれています。立つときの筋の微調整について、模型を使って説明したり、実際に筋肉を触ったりして、理解を深める講義を行います。		

申込番号 35	理学療法学専攻	泉水 朝貴
体を支える骨のはなし		
ヒトの骨の数とその働き、折れた骨の治癒過程と治療、骨折の予防策や骨折後のリハビリテーションについて説明します。		

申込番号 36	理学療法学専攻	近藤 和夫
有酸素運動と無酸素運動		
<p>「有酸素運動」「無酸素運動」という言葉を聞いたことがありますか？運動は強度と時間によって、身体に及ぼす影響は異なり、得られる効果も変わってきます。目的にあった運動とは、どのようなものか考えてみたいと思います。</p>		

申込番号 37	理学療法学専攻	松崎 由里子
病院だけじゃない？理学療法士の活動の場		
<p>理学療法士はスポーツでけがをした人にリハビリをしていることはよく知られていますが、理学療法士が活動する場は、病院や施設の中だけでしょうか？あまり知られていないかもしれない、理学療法士の活動の場を医療と保健福祉に分けて紹介します。地域に住まわれている高齢者の方と行う活動や災害の場面において行う活動、国際的なかわりにも理学療法士は参画しています。細かい内容はご希望を伺い調整いたします。</p>		

申込番号 38	理学療法学専攻	新開谷 深
安全で効果的なストレッチ		
<p>運動の前後にストレッチをすることは良くあります。よく行われているストレッチには、実は効果的ではなかったり、安全ではなかったりするものもあります。筋肉がストレッチされるメカニズムと実際のやり方を学びましょう。</p>		

申込番号 39	理学療法学専攻	宮城島 沙織
赤ちゃんの発達と動きの不思議		
<p>赤ちゃんが「寝返り」「はいはい」「立つ」「歩く」までの発達の仕組みを解説し、運動発達の過程を理学療法の視点から考察します。小児理学療法士がどのように子どもの成長をサポートするのかを紹介し、発達の遅れや障がいを持つ子どもへのアプローチについても説明します。</p>		

申込番号 40	理学療法学専攻	坂口 友康
転倒予防		
<p>高齢者は特に転倒しやすく、転倒から骨折等の怪我をしてしまい寝たきりになってしまう場合もあります。怪我についての基礎知識や、転倒しないようにどう環境を整備すれば良いのかなど、今すぐ自宅でできる転倒予防対策をご紹介します。</p>		

申込番号 41	理学療法学専攻	渋川 佳彦
理学療法士も検査をする		
<p>医師は治療をする前に必ず検査を行い、病気を診断します。理学療法士も理学療法を行う前に検査をして、障害を評価します。この講義では理学療法士が行う様々な検査の体験を通し、治療を含めた理学療法評価の流れについて学びます。</p>		

申込番号 42	理学療法学専攻	武田 賢太
神経難病の理学療法		
<p>脊髄小脳変性症やパーキンソン病といった進行性の神経疾患をご存知ですか？体をスムーズに動かすことが難しくなったり、転倒しやすくなったりと様々な症状が病期に伴って変化します。転倒予防を中心に、比較的簡単にできる運動をご紹介します。</p>		

申込番号 43	理学療法学専攻	谷口 達也
スポーツによるケガと理学療法		
<p>近年、健康志向が高まり幅広い年齢層でスポーツ人口が増加している。しかし、スポーツ人口の増加に伴い足や膝関節のケガも増加してきている。本講義では注意したい競技とそのケガの予防方法と理学療法について示していきたいと思います。</p>		

申込番号 44	理学療法学専攻	三浦 紗世
予防と理学療法士		
<p>そもそも健康とは？「健康」から「病気」に至らないためにはどのような予防方法があるのか、予防と理学療法士のかかわりについてをご紹介します。</p>		

申込番号 45	作業療法学専攻	岸上 博俊
車椅子に乗ってみよう		
<p>車椅子は、障害を持っている方には大切な移動補助具になります。また、移動だけではなく日中の多くの時間を車いすで過ごす人もいます。そんな車いすを実際に体験してみてください。また、より良い車いすを作っていくための実験機材や計測も体験しましょう！</p>		

申込番号 46	作業療法学専攻	岸上 博俊
利き手が使えなくなったら		
<p>利き手が使えなくなると日常生活は大変困ります。食事、書き取りなど多くのことで苦勞します。そんな場合に助けてくれる道具がありますので、実際に体験しながらリハビリテーションを体感してみてください。</p>		

申込番号 47	作業療法学専攻	及川 直樹
肩・肘・手のケガ予防		
<p>上肢(肩・肘・手)の仕組みをほんの少し知るだけで、スポーツ障害も、音楽家の手の障害も、怪我也防げる！高校生にも明日から役立つ豆知識を専門家の視点からお話したいと思います。</p>		

申込番号 48	作業療法学専攻	及川 直樹
手の簡易装具(スプリント)を作ろう		
<p>手の怪我や障害に対するリハビリテーション場面で、作業療法士が実際に作成する簡易装具(スプリント)の作成体験を実施します(要人数制限。20名程度)</p>		

申込番号 49	作業療法学専攻	及川 直樹
ロコモティブ・シンドロームを知って健康寿命を伸ばそう！		
<p>運動器機能(骨・筋肉・神経)の障害によって引き起こされる移動機能の低下を呈する「ロコモティブ・シンドローム」は高齢者だけの問題ではありません。最近では小中学生から高齢者まで幅広い年齢層で問題となってきています。ロコモティブ・シンドロームの予防を学んで健康寿命を伸ばしましょう！(20~30名程度であれば高校の先生に簡単なお手伝いをいただきながら、講義だけではなく演習や簡易計測も可能です。計測結果はその場でフィードバックできます)</p>		

申込番号 50	作業療法学専攻	清本 憲太
心と身体の関係		
<p>リハビリテーションの専門職である作業療法士は「心と身体のリハビリテーション」といわれ、医学や心理学などの学問をもとにリハビリテーションを行います。心と身体の間接な関係とリハビリテーションへの応用について演習等を通して解説します。</p>		

申込番号 51	作業療法学専攻	清本 恵太
更年期や高齢期の痛み		
更年期や高齢期を迎えるとヒトには生物学的に様々な変化をもたらす、関節などの痛みにつながる ことがあります。身体や心理の変化に伴う、痛みの特徴について演習等を通じて解説します。		

申込番号 52	作業療法学専攻	清本 恵太
作業療法士のシゴト ～仕事の内容から学校生活、国家試験の傾向まで～		
作業療法士は国家資格であり、医療・保健・福祉の専門家です。作業療法士のしごとや活躍する場、 資格取得までの道のりと国家試験の傾向と対策について解説します。		

申込番号 53	作業療法学専攻	合田 央志
人の生活を支える仕事 ～作業療法ってなに？～		
みなさんは「リハビリ」と聞くと、ケガをした人が運動するイメージがあるかもしれませんが、でも、リハ ビリには「その人らしい生活を取り戻す」という大切な目的があります。作業療法(OT)は、病気やケ ガ、障がいがあっても、自分らしく生活できるように支える仕事です。例えば、事故で手が動かしく なくなった人がもう一度料理できるように練習したり、心の病気で家から出られない人が外に出る自 信を持てるようサポートしたりします。AIが発達しても、人の気持ちに寄り添うことは作業療法士に しかできません。リハビリの仕事の魅力を学んでみませんか。		

申込番号 54	作業療法学専攻	村上 正和
脳卒中者に対する作業療法		
日本には脳卒中の方々が約100万人もいると言われており、多くの方がリハビリテーションを必要 としています。脳卒中者に対する作業療法の幅は広く、手足のリハビリや生活動作のリハビリ、高次 脳機能のリハビリなど、様々なことを行います。その一部を一緒に体験してみませんか？		

申込番号 55	作業療法学専攻	村上 正和
ゲームを使ったりリハビリ		
ゲーム人口が増え、患者さんの中にもゲームがやりたいという方が増えています。片手でゲームをし たり、弱い指の力でゲームをしたり、色々な工夫で患者さんの症状に合わせてコントローラーやゲー ムの設定を工夫し、楽しむことができます。ぜひ一緒にやってみましょう。		

申込番号 56	作業療法学専攻	村上 優衣
子どもの作業療法		
子どもの作業療法はさまざまな場面で展開されていますが、対象児・者の多くは、家族とともに地域 で暮らしています。家族が幸せに生活を続けるために、作業療法士ができること、考えるポイント について、一部を紹介します。		

申込番号 57	作業療法学専攻	坂口 紀子
“座ること”を考える		
<p>毎日何気なく行っている“座り”について考えたことがありますか？座りはさまざまな動作の基本となります。病気や加齢が座りや姿勢に与える影響を考えてみませんか。</p>		

申込番号 58	作業療法学専攻	木村 優斗
上肢機能リハビリテーション		
<p>食事、入浴、家事動作など、人の生活の中で手の動きはなくてはならないものとして位置しています。しかし、骨折などの整形外科疾患の受傷、脳卒中などの発症により、手の動きが阻害されてしまう場合、生活が成り立たなくなってしまう。このためリハビリテーションでは手の動きに対する「上肢機能リハビリテーション」を実施します。上肢機能リハビリテーションの考え方や実践について体験をしてみませんか？</p>		

申込番号 59	作業療法学専攻	宝田 光
高次脳機能障害に対するリハビリテーション		
<p>脳卒中後の後遺症には手足の麻痺だけではなく、注意が散漫となったり、道具の使い方や動作の手順が分からなくなったりします。このような病態を“高次脳機能障害”といいます。高次脳機能障害は日常生活に大きな支障をきたすため作業療法の対象となります。高次脳機能障害による影響について一緒に考えてみませんか。</p>		

申込番号 60	診療放射線学科	福山 篤司
医療で利用されている放射線と医療機器		
<p>皆さんが一度は経験したことのある「レントゲン検査(X線検査)」や「CT検査」はX線と呼ばれる放射線を使用しています。東日本大震災時に起きてしまった福島第一原子力発電所の事故によって、「放射線は怖いもの」と位置づけられてしまったかもしれませんが、病気に悩む方の診断と治療には適正に使用され、画像診断では重要な役割を担っています。病院や診療所などの医療施設において、放射線がどのように利用され、扱われているのかを分かりやすく解説します。また、どのような過程で医療機器から放射線が出ているのか、医療施設における診療放射線技師の役割などについても併せてお話し致します。</p>		

申込番号 61	診療放射線学科	福山 篤司
医療現場で活躍する診療放射線技師の仕事		
<p>医療現場で使用されるレントゲンやCT、MRIを例に、診療放射線技師がどのような役割を担い、医療を支えているのかをわかりやすく紹介します。</p>		

申込番号 62	診療放射線学科	島 勝美
さまざまな被ばくと人体への影響		
<p>放射線は身近にあるものです。地球上の生物は太古の昔から、大地、空、水など様々な場所から放射線を被ばくしています。我々は、放射線が普段目に見えず、何も感じないものなので被ばくした事を意識せずに生活をしています。そこで、本講義では放射線がどこから発生し、被ばくすると身体はどうなるのかを解説します。さらに、医療で使われる放射線の種類や強さ、用いられる放射線の量を減らす取り組みなどを紹介します。</p>		

申込番号 63	診療放射線学科	阿部 匡史
ここまでできる放射線治療		
<p>放射線を利用した診療のひとつに放射線治療があります。放射線治療は身体の外側から放射線を照射する方法、放射線を放出する元素を腫瘍内に刺入したり集積させたりして内側から放射線を照射する方法に分けられます。近年、医療技術や医療機器の進歩によって、より正確で安全な放射線治療が可能になってきており、これらの技術を紹介するとともに診療放射線技師の役割について解説します。</p>		

申込番号 64	診療放射線学科	黒藤 邦夫
がん医療における画像検査・画像診断の役割		
<p>我が国では生涯のうち国民の2人に1人が罹ると推測される「がん」に対する対策の一つとして、学校における「がん教育」を推進することが謳われています。この講義ではがん医療、特にがん予防における画像診断の役割と診療放射線技師のかかわりなど、「がん」についての正しい知識とともに画像検査・画像診断のがん予防における役割と重要性について講義します。</p>		

申込番号 65	臨床検査学科	浅沼 広子
なぜ、治る乳がんと治らない乳がんがあるのか？		
<p>がんの完治は、5年間再発しないことが基準ですが、乳がんは10年後でも再発することがあります。その原因解明と病理(組織・細胞診)検査がどう関わっているか紐解きます。</p>		

申込番号 66	臨床検査学科	梅森 祥央
医療に用いられる化学とは		
<p>高校3年間で学ぶ化学の知識は、医療現場(特に臨床検査)でどのように活用されているのか、具体例を示しわかりやすく解説します。</p>		

申込番号 67	臨床検査学科	徳永 祐一
今から知ってほしい“がん”のこと～細胞検査士の立場から～		
<p>がんの中でも「子宮頸がん」とHPV(ヒトパピローマウイルス)の関係性について、細胞検査士の立場からお話をさせていただきます。</p>		

申込番号 68	臨床検査学科	望月 真希
遺伝子検査を学ぶ		
<p>遺伝子検査と言われて何が浮かぶでしょうか。遺伝子検査のこれまでの歩みとこれから期待されることをご説明します。</p>		

申込番号 69	臨床検査学科	岡田 一範
超音波でみる動脈硬化と心疾患		
<p>「人は血管と共に老いる」ということばがあります。年齢を重ねると動脈硬化が進みますが、生活習慣が悪いと動脈硬化が実年齢以上に進行し、心臓の病気にかかりやすくなります。超音波検査は、赤ちゃんの検査に使えるほどやさしい検査法です。本講義では、動脈硬化や心疾患の評価に超音波検査がどのように活用されているかを解説します。</p>		

申込番号 70	臨床検査学科	魚住 諒
本当にA型は几帳面？～血液型の科学と輸血の関係～		
<p>日本人が大好きな「血液型占い」。これは会話のきっかけとはなりますが、実際には科学的根拠がありません。病院で行われる輸血医療には我々臨床検査技師が深くかかわっています。</p> <p>✓ 血液型ってどんなもの？ ✓ 血液型ってどうやって調べるの？ ✓ 輸血ってなに？ ✓ 移植ってどんなこと？身近な話題であって、実はよく知らない血液(型)についてやさしくご紹介します。</p>		

申込番号 71	臨床検査学科	魚住 諒
ワクチンを打つのはなんのため？～感染症予防と免疫メカニズム～		
<p>なにかと話題になるワクチン。特にメディア等では否定的に語られることも少なくありません。</p> <p>✓ ワクチンってどんなもの？ ✓ こんなにたくさんあるワクチンの種類</p> <p>✓ 新技術！ 核酸ワクチンのここがすごい！～ 新型コロナウイルスワクチンなど、ワクチンと感染症予防、そして免疫メカニズムについてやさしくご紹介します。</p>		

申込番号 72	臨床検査学科	小池 祐史
身近な微生物について		
<p>われわれの周りには様々な微生物が存在します。その中で身近な微生物の一つである善玉菌と悪玉菌について、病院の微生物検査の内容も含めてお話しさせていただきます。</p>		

申込番号 73	臨床検査学科	高橋 裕之
染色体異常は病気か？		
<p>染色体異常は、偶発的に生じることもあれば、環境に起因することもあり、また、放射線などの影響によって生じることもあります。臨床検査から知り得る染色体・遺伝子異常には、どのようなものがあるかを解説します。</p>		

申込番号 74	臨床検査学科	中鉢 雅大
あなたの知らない臨床検査技師の世界		
<p>臨床検査技師って普段何しているの？”検査”と書いてあるくらいだから病院でいろんな検査をしていると考えるでしょう。臨床検査技師の具体的な業務内容と、主に病院内での役割について解説します。</p>		

申込番号 75	臨床工学科	千原 伸也
大学病院の臨床工学技士って何やってるの？		
大学病院は難しい症例を最先端の医療機器を用いて治療する施設ですが、実際の医療機器や扱う医療職についてはあまり知られていません。本講義では大学病院における医療機器と臨床工学技士について概要を解説します。		

申込番号 76	臨床工学科	竹内 文也
理系男子がホームヘルパーしてみました。		
工学系大学教員(50代)がホームヘルパーに挑戦した体験談です。研修を受けて「ヘルパー」の資格を取り、リアルな在宅介護を行いました。それを通して実感した、資格をとるための「研修」と大学の「授業」の違いや、在宅介護の理想と現実のズレ、理系男子だからできそうな生活支援についてお話しします。身体介護の手技といった介護技術の話はありません。		

申込番号 77	臨床工学科	加川 宗芳
いろいろなセンサーを使ってみよう		
生体情報を取得するために、種々のセンサーが活用されています。体温計やパルスオキシメータなどの医療機器がどういうしくみで働いているのかを解説します。		

申込番号 78	臨床工学科	斉藤 徳
病院の機械はどうやって命を支えているのか —医療機器と臨床工学技士の仕事—		
病院では医師や看護師だけではなく、医療機器を使って患者の命を支える専門職が働いています。人工呼吸器や血液透析装置、心臓カテーテル検査装置など、実際の医療現場で使用されている医療機器を例に、それらがどのように患者さんの命を支えているのかを紹介します。また、これらの医療機器を安全に管理・操作する臨床工学技士について解説し、医療と工学が結びついた医療の世界をお話しします。		

申込番号 79	臨床工学科	齊藤 高志
AED(自動体外式除細動器)ってどんな機械？		
AEDとはどのような時に使われるのでしょうか。また、駅やショッピングモール、学校に設置されているAEDが正しく動いている事をどのように確認したらよいのでしょうか。臨床現場で医療機器の管理を行う臨床工学技士が説明します。		

申込番号 80	臨床工学科	高平 昂
シーズにあるのはどんなニーズ？		
臨床工学技士の目線から植え込み型心臓電気デバイス(CIEDs:シーズ)の必要性和普通の生活に潜むリスクについてお話しします。使用者と非使用者もCIEDsの知識が無ければ共生できない社会になってしまいます。あなたは公共交通機関の専用席付近でなぜ、“電話の電波を切る”必要があるのか、答えられますか？		

申込番号 81	医療DXマネジメント学科	笹森 大輔
医療DX入門:AIとデジタルがつくる新しい医療のカタチ		
<p>医療現場では、デジタル技術とAIの導入が進み、医師や看護師の仕事が大きく変わっています。たとえば、AIが画像診断をサポートしたり、カルテ作成を自動化したりすることで、業務が効率化され、患者と向き合う時間が増えます。また、生成AIは医療文書や説明資料を短時間で作成し、チームの負担を減らします。この授業では、実際の活用例や将来の医療の姿をわかりやすく紹介し、デジタル時代に求められる医療人の新しい役割について一緒に考えます。</p>		
申込番号 82	医療DXマネジメント学科	小林 土巳宏
「未来の医療を変える！医療DX入門 ～病院・介護・地域をつなぐデジタルの力～」		
<p>電子カルテ、AI、オンライン診療、ロボット、スマートフォンアプリなど、医療現場で活用される最新のデジタル技術をわかりやすく紹介する。医療DXが医師・看護師・リハビリ職・事務職の働き方をどのように変えるのか、将来の医療の姿を具体例を交えて学んでいきます。</p>		
申込番号 83	医療DXマネジメント学科	上杉 正人
DXは医療を救う		
<p>医師や看護師などの人手不足が社会問題となる中、その解決策として医療現場ではIT(情報技術)の活用が急速に進んでいます。本講義では、ITを活用して医療スタッフの働き方を変え、効率化や医療安全につなげるとともに、病院経営の主軸となる「医療DX」についてわかりやすく紹介します。そして、なぜDXが医療を支え、救う力になるのかを一緒に考えていきます。</p>		
申込番号 84	医療DXマネジメント学科	赤津 裕子
医療システム・サービスのユニバーサルデザイン入門		
<p>「会計システムの使い方がわからない」「お年寄りがスマホ予約に苦戦している」など目にすることはありませんか？現在、医療現場ではAIによる画像診断などに加え、予約・会計システムなど、「医療DX(デジタルトランスフォーメーション)」が急速に進んでいます。しかし、どれほど技術が進化しても、それが誰にとっても使いやすく、わかりやすいものでなければ意味がありません。この授業では、障害の有無や年齢、国籍を問わず、誰もが等しく恩恵を受けられる「ユニバーサルデザイン(UD)」の考え方や使う人の気持ちに寄り添ってシステムを作る「人間中心設計(HCD)」の考え方を学びます。最新技術をどう使えば、患者さんや医療従事者の負担を減らし、だれもが幸せになれるのか、未来の医療について一緒に考えていきます。</p>		
申込番号 85	医療DXマネジメント学科	坂野 大樹
病院で働いている人(医療職/事務職)のシゴトとマネー		
<p>病院で働く医療職(医師/看護師/助産師/薬剤師/診療放射線技師/臨床検査技師/リハビリテーションセラピスト(PT/OT/ST)/臨床工学技士 等)と事務職(経営企画/医事/診療情報管理/経理/総務/施設/地域連携 等)の仕事内容や給与水準をざっくり解説します。</p>		
申込番号 86	医療DXマネジメント学科	塚辺 博崇
高校生からの投資入門		
<p>高校でも金融教育が導入されるなど、わが国でも金融に関する知識を若年層から教えることが進んでいます。しかし、学校で学んだことを、どう実社会で武器に変えるかという知識も重要になります。そこで高校生の皆さんに興味を持ってもらえるように株式投資(お金に働いてもらう)だけではなく、進路選択のための自己投資(自分が稼ぐ力をつける)などの話を含めてリアルなお話しします。金融や会計に興味を持ち進路選択のきっかけになるような講義にしていこうと思います。 ※講義内容は受講人数や学年等に応じてアレンジも可能ですので、ご相談ください。</p>		

申込番号 87	共生社会デザイン学科	今西 良輔・糸田 尚史 大倉 雄一・辻 由依
「心理学の入門」		
<p>心理学は「心」を扱う学問ですが、その方法は単なる感覚や直感ではなく、科学的な実験や調査に基づいています。本講義では、心理学の主要な領域(発達、認知、社会、臨床など)を説明し、私たちが普段感じる「なぜ人はこう考えるのか」「なぜ行動してしまうのか」という問いに、心理学がどのように答えてきたのかを解説します。</p>		

申込番号 88	共生社会デザイン学科	今西 良輔
「心のクセと上手に付き合う心理学 ～習慣づけとSNS～」		
<p>私たちの「心のクセ」は、毎日の行動や気分には大きな影響を与えています。勉強や運動の習慣が続かない一方で、SNSは自然と続けられるのはなぜでしょう。本講義では、心理学の認知行動の視点から「習慣ができる仕組み」と「SNSが心に与える影響」などを学びます。自分の行動や考え方を見直し、どのようにこれから生活をするか考えてみましょう。</p>		

申込番号 89	共生社会デザイン学科	丸山 正三
カウンセラーとソーシャルワーカー		
<p>カウンセラーもソーシャルワーカーも人を支援する専門職です。同じ片仮名の職名ですが、どのような仕事をするのでしょうか。いずれの専門職も社会から大きな期待が寄せられています。将来のキャリアの参考となるよう二つの仕事の共通点と特徴をお話します。</p>		

申込番号 90	共生社会デザイン学科	橋本 達志
コミュニケーションのコツ ～私と他者の境界を考えよう～		
<p>コミュニケーションは、学び身につけることができます。基本的な、自分と他者との「境界(バウンダリー)」は、とても大事なことです。自分のことを大事にするための基本を身につけましょう。</p>		

申込番号 91	共生社会デザイン学科	山下 浩紀
コミュニケーションスキル向上のために「伝えたい」ことが「伝わった」になるには		
<p>自分ではことばで物事を伝えつつも、意外と相手には伝わっていないことがあります。確実に伝えるためにどうすべきかを事例から考えましょう。</p>		

申込番号 92	共生社会デザイン学科	糸田 尚史
子どもの発達を促す遊びの心理学		
<p>発達検査や知能検査を受けていただくと、お子さんの発達に多様性が見つかることがあります。そうした少数派で非定型なお子さんにも、さらには多数派の定型なお子さんにも有効とされる認知の発達や社会性の発達を促す親子遊び、絵本の読み聞かせ、手遊び歌などをみなさんと楽しくロールプレイングしてみましょう。動きやすい服装でいらしてください。</p>		

申込番号 93	共生社会デザイン学科	大倉 雄一
いやな気分のコントロール方法を知ろう！		
<p>同じ出来事を経験しても、落ち込む人とそうではない人がいますが、両者にはどのような違いがあるでしょうか。それは、感情が「出来事」から直接生まれるのではなく、私たちの「解釈(考え方のフィルター)」を通して生み出されるからです。この仕組みを活用し、気分をコントロールするのが、科学的な効果が実証されているカウンセリング技法「認知行動療法(CBT)」です。この講座では認知行動療法の基本的なアイデアについてご紹介をします。</p>		

申込番号 94	共生社会デザイン学科	辻 由依
価値観が違うってどういうこと？ —自分と相手を大切にすヒント—		
<p>人にはそれぞれ大切にしていることがあります。そして、人によって考え方や感じ方はさまざまです。価値観の違いは特別なことではなく、誰にでもあります。本講座では、価値観の違いとは何かを考えながら、自分と相手を大切にす関わり方について考えていきます。</p>		

申込番号 95	共生社会デザイン学科	平野 啓介
「ちがいは“弱さ”じゃない ～いっしょに生きる社会のつくり方～		
<p>私たちは一人ひとり違う存在です。年齢、性別、国籍、障がいなどの違いは、決して「弱さ」ではなく「その人らしさ」です。本講義では、共生社会の考え方をもとに、なぜ人は生きづらさを感じるのかを考えます。そして「問題は人ではなく社会にある」という視点から、誰もが安心して暮らせる社会のヒントを学びます。自分にできる小さな一歩についても一緒に考えます。</p>		

申込番号 96	共生社会デザイン学科	林 美枝子
生きることの意味を問う		
<p>日本全国ではやり始めている「デスカフェ」を体験することで、死から生きることの意味を学ぶ講義です。親族の死、押しのアイドルの死、ペットの死など喪失に向けて死に圧倒されないためのトレーニングの基礎を体験します。</p>		

申込番号 97	共生社会デザイン学科	糸田 尚史
錯覚(イリュージョン)の心理		
<p>実際とは違って見えたり(錯視)、違って聞こえたり(錯聴)、実際とは感触が異なったり(錯触)するなどの心のはたらきは「錯覚」と呼ばれています。心理学ではこの「錯覚」という現象も昔から重要な研究テーマとされてきました。さまざまな「錯覚」をPowerPointなどでみなさんと体験しながら、人間の脳や心の不思議とその進化について考えてみましょう。</p>		

申込番号 98	共生社会デザイン学科	田中 英樹
青年期のメンタルヘルスを一緒に考えてみませんか？		
<p>青年期とは子どもから大人になる迄の中間の時期を言います。広く捉えて中学時代(思春期)から30歳未満までを表します。身体的機能の成長だけでなく、こころも成長し、「自分とは何者か」に直面する時期です。学業や就職、進路選択、人間関係、SNSの普及など多様なストレスに置かれやすく、メンタルヘルスの課題などの発症危機の時期でもあります。こうした青年期に特有な心の危機を解説し、その支援や対処方法などを学びます。</p>		

JHU



デリバリークラス[出張授業]

2026

【照会先】

日本医療大学 事務局 募集グループ

電話 011-351-6111

住所 札幌市豊平区月寒東3条11丁目1-50